

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場 総務課
(〒949-75 ☎0258(0)89-3111)

健康と心のふれあう スポーツの町

8月第3日曜日は町民こぞの体育祭…。この日(8月23日)運動公園多目的広場は、スポーツの輪が大きく広がり、さわやかな1日を皆さんで過しました。



せりあいの最後の競技種目地区館
対抗し。逆転優勝の望みを
かけ、地区の期待を一心に背負
い懸命に走る選手!!

消防吏員募集

小千谷 衛生消防組合
川口町

昭和六十三年採用

- 一、応募資格
 - 小千谷市、川口町又は山古志村に住所を有し、23歳未満(昭和40年4月2日以後に生まれた者)の男子で高校卒業以上の者。又は昭和63年3月31日までに卒業見込みの者。
 - 二、申込み受付期間
 - 9月10日(木)から9月24日(休)までの間
 - 三、申込み先
 - 川口町役場総務課(又は小千谷市役所、山古志村役場総務課)
 - 四、採用予定人員
 - 三名
- ※詳細は川口町役場総務課へ
電話八九一三一一一へお問い合わせください。

歯の無料健康相談

▼日時 9月19日(土)

▼午前10時～11時30分

▼場所 田麦山小学校体育館

▼内容 歯科医師による検診及び相談

▼料金 無料

▼対象者 子供からお年寄りまで町内者はどなたでも受けられます。

※川口歯科医院貴船先生のご好意により、新潟東ライオンズクラブの医師団が検診します。

空カン捨てないで!!

今年もクリーン作戦

今年もクリーン作戦が展開されています。

去る七月二十八日、町明るい社会づくり推進会と環境衛生組合により、町内の主な道路、河川、側溝などの空カン拾いが実施されました。

毎年、町内環境浄化運動のひとつとして実施しているもので、今年も、荒屋、新敷部落の子供会も参加して約百名でクリーン作戦が行われました。

善意をありがとう

八王子市の今井正治さんから敬老会に拾万円のご寄附をいただきました。心から厚く御礼を申し上げます。尚、これまでも数回にわたり多額の寄附をいただいております。



▲父母、子供たちによる空カン拾い 8/9 於西倉

公営住宅空室情報

- 1. 県営住宅あけぼの団地 1戸 (24)
 - 2. 町営住宅よしとみ団地 1戸 (16)
 - 3. 町営住宅大島団地 7戸 (30)
- () 内は全戸数

停電のお知らせ

- 9月25日(金) 13:00～15:30 西川口
- 10月8日(休) 9:30～11:30 小和北、田麦山全域

人権相談

こまりごと
とき 9月4日(金) 午前10時～午後3時
ところ 川口町総合福祉センター
※相談は無料で、秘密が守られます。お気軽にお問い合わせください。

危険物取扱試験

受験準備講習会
試験 10月16日(金) 於サン・ローラ川口
願書受付 9月14日～18日まで
講習会 9月17日～18日 於小出郷福祉センター
種類 乙種第四類
問い合わせ 小千谷地域消防本部 ☎83-2311

人口	6,523人	昭和62年9月1日現在
男	3,200人	
女	3,323人	
世帯数	1,506戸	

町民体育祭	2～3	少年の主張大会で優勝	11
30時間マラソン野球	4～5	スポーツコーナー	12
企業誘致 定住構着想実に前進	6～7	郷土の歴史を綴る	14
祝成人 はばたけ青春	8～10	交通安全 だからヘルメット	15

おもな内容

町民体育祭

ここでも君たちは主役



▲ 地区館対抗リレー
一番でバトンタッチ、そら走れ!!



▲ お母さんとアベック二人三脚
意気がピッタリ



▲ 持久走400M 小低学年
歯をくいしばり、ガンバッ!



▲ ? 大なわとび競争です
ヨイショ!!

健康と心のふれあうスポーツの町!

健康と心のふれあうスポーツの町づくり……。夏の最後を飾るイベントー町民体育祭は、今年も数々のドラマを残し、人々の心に刻まれ、さわやかに幕を閉じた。

昨年は、雨天により中止となったが、地区の榮譽をかけて、今年こそは優勝をと夢を抱き、選手と地区が一体となって、今年も全力を投入した各地区館。そして、スポーツの輪は大きく広がり、人間性豊かな連帯と「正義と忍耐」「最善と協力」のスポーツ精神が培われることにより必ずや健康で明るく素晴らしい明日への生活の原動力となっていくでしょう。

第二十九回町民体育祭は八 盛り上げた。

月二十三日(日)、七地区館、四 競技は、新種目のペーパー百三十名余の選手が出場して

運動公園多目的広場で開催された。

四種目にわたって熱闘が繰り広げられた。

また、参加者全員による「町制施行三十周年記念サマ

ービッグクイズ」も登場し、テレビさながらに、ユニークなクイズも飛び出し、会場を爆笑させ、なごやかなムードに包まれた。

今年も、競技中半からリレーを続けていた西川口地区館が、前回に引き続き優勝を果し、準優勝に東部地区館、健闘した泉水地区館は三位に躍進した。

スポーツがみんなをつないでくれる!



▲ みんな輝いている。みんなで入場行進



▲ 力強く
選手宣誓、私達町民は……
正々堂々と……。



▲ 玉入れ
投げる人、集める人 分担作戦で。



優勝は
西川口地区館



入場行進

▲ 新種目ペーパーウィークリレー



▲ 顔、顔、顔、どの顔も一生懸命/力つきるまで……。



▲ ジャンケンリレー
左パーで負け

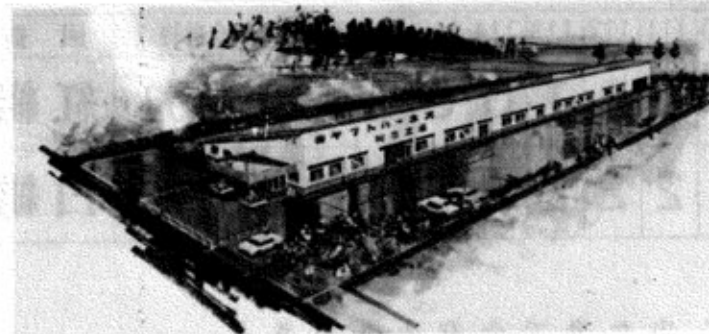


▲ 今年も一生懸命練習しました
百足競争



▲ 各界代表リレー 昔ならした健脚を競う

な町づくり 着実に前進



▲ ヤマトハーネス越後川口工場一完成予想図

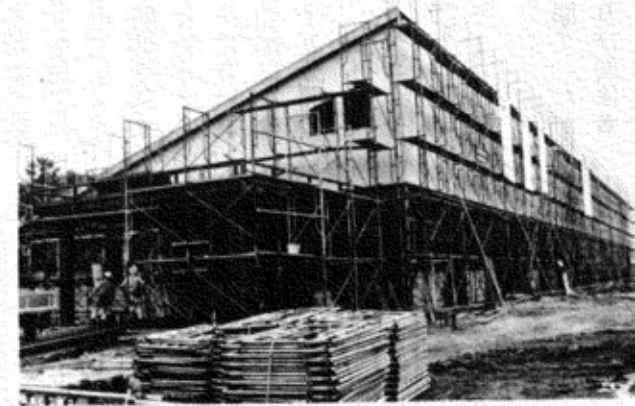
安定した就業機会の確保を図ることが、ますます重要な課題となっています。町は、この大きな目標である就労の場づくり(定住構想の最終目的)に向かって積極的に取り組んでいます。目下、誘致が決まった企業及び最近における企業進出の状況について、今回は特筆しました。

ヤマトハーネス(株)誘致

9月操業を目指して工場建設

若者の定着や、高令者、婦人層を含めた活力ある地域づくりを——と。新規企業の誘致が強く望まれています。六月十六日、町役場で、電気機械器具メーカー、ヤマトハーネス(株)(松山電子の系列会社)と町との工場誘致に関する覚書がとりかわされました。同社は、今年六月、新しく指定された相川農村工業導入地区(旧泉水小学校跡地)に進出するもので、中山及び西川口農村工業導入地区の越後製菓(株)、信越工業(株)に続き導入地区では誘致第三号です。松山電子(株)の百パーセント子会社としてのヤマトハーネス(株)(大和町)は、自動車用電線組立配線の専門メーカーとして、かねてより当町への進出を希望しておりました。昨年九月、川口工場建設の第一歩として旧農協会館を仮工場の一部操業を始めていました。

同社は、七月から工場(約千三百平方メートル)建設に着手し、九月の操業を目指して急ピッチで工事を進めています。雇用は、当面第一ステップ(年内)約四十名、第二ステップ(来年七月時)約七十名程度としています。親会社である松山電子(株)(服部家社長、本社・埼玉県比企郡吉見町)は自動車用ワイヤリングハーネス及び



▲ 9月操業を目指し急ピッチで工事が進む ヤマトハーネス越後川口工場

電気機器部品の製造・販売をしており、資本金は七千二百万円、従業員二百五十八名で三月決算の年商は五十二億八千万円。同社は、昭和四十七年新潟県に進出。六日町、塩沢町に工場を建設し、更に、六十年大和町に系列会社ヤマトハーネス(株)を設立して操業をしております。さらに、静岡県に浜名湖工場が、岐阜県に関連会社の岐阜松山電子(株)がありクルマのエレクトロニクス化と共に活躍の場は広く成長が期待されています。

活力のある豊か 定住構想

企業誘致

最近10年間における進出企業数及び雇用者数

※調査日 62年2月末現在
但し 62年は7月末現在

年	進出企業数	雇用者数	左の内訳			
			町内者		町外者	
			男	女	男	女
53	4	105	21	49	20	15
54	3	66	13	16	29	8
55	1	6	3	3		
56	1	173	25	50	10	88
57	4	38	12	14	9	3
58	3	75	22	17	33	3
59	2	12	1	11		
60	1	13	2	9	1	1
61	1	15	2	12	1	
62	2	46	4	36	5	1
計	22	549	105	217	108	119

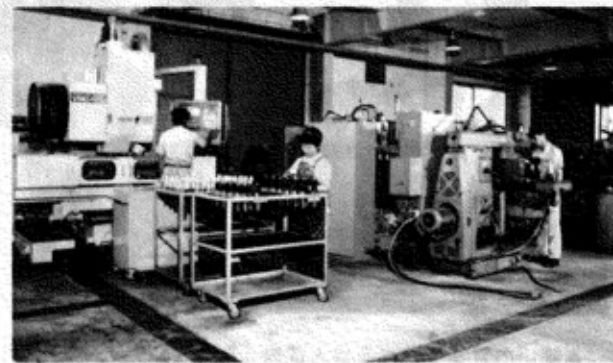
食品製造	4件	精密機械製造	1件
一般機械器具製造	2件	化学工業	1件
電気機械器具製造	3件	その他	11件

最近の企業進出状況

町は、定住構想に基づき、その最終目的は「就労の場づくり」であることから、企業誘致については行政の中に大きなウェイトをおいて取り組んでいます。

円高不況など厳しい社会経済環境の中にあつて、中高年齢層の就労の確保や日雇・出稼等々の不安定就業者の地元における安定就業への促進、並びに若年層の定着化を図るため、成長性と安定性のある企業の誘致を積極的に進め、基幹産業である農業と、均衡のとれた発展に努めています。

当町は、インターのある町として交通条件に恵まれ、優良企業の進出が今後も期待される中で、活力のある豊かな町づくりに向けて着実に前進しております。今年に入つて、同インターのサービスエリアにレストラン(七月オープン)が建設され越後交通(株)と高崎弁当(株)の二社が進出し、五十名近い方々が採用されるなど、雇用の確保がなされています。最近10年間における企業の進出と雇用者数は次のとおりです。



新たに相川地区に 農工団地指定 される!!

町は、泉水小学校の新築移転(昭和五十八年二月)に伴い、同跡地の利用について検討を進めてきました。去る六月一日、国、県との協議が成立し、「相川農村工業導入地区」の指定を受け、工業団地として利用することが決まりました。

同跡地は、旧泉水小学校用地(校舎、体育館、グラウンド)として町が個人から借り受け



▲ 町のテーマ塔

て使用してきたもので、面積は約八、七〇〇平方メートル。地権者からは、跡地の有効利用をと、また、地元の人たちからは、工場の誘致に強い希望がだされていきました。町は、当地域の活性化につながる工業導入を図るべき計画を立て作業を進めてきましたが、今回工業導入地区として新たに指定されたものです。指定により、進出企業に対しては、農村地域工業導入促進法に基づき、税制、金融上の特例措置又は優遇措置等が講じられ、同地区への工業導入及び雇用が促進されることとなります。今回の指定により、西川口及び中山地区の農村工業導入地区と合わせ、三つ目の指定となりました。

の 一 歩 において行動!!

ハ タ チ 20歳 大人 これからは自らの判断と責任

祝 成 人
はばだけ青春

第三十七回成人式は八月十四日、サン・ローラ川口(新潟建設労働者研修福祉センター)に新成人七十名が出席して行われました。町は、都会等からの帰省に合わせ、昭和五十八年から毎年お盆に成人式を行っております。今年成人を迎えられた方は、八十九名(男二十八名、女五十三名)で出席率は七十九%でした。満二十歳……おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年をこの日は祝い励まし、そして、国民として最も重要な選挙権が与えられ、これによって国政に、あるいは地方政治に参加する機会を得、また、未成年者に与えられていた法律上の保護も取り去られ、独立の社会人として自らの判断と責任において行動することが要求される人生の区切りの年でもあります。

青柳町長はこの日、成人式に参加した青年を励まし祝う中で、大人の仲間入りをしてこれからの新しい人生を切り開こうとしていくために、ふるさと(自分の町)がなにを考へなをしようとしているかを話され、これからの町づくりは、お年寄りから子供まで一緒に進んでいかなければならないと、二十一世紀の指導者となる青年に大きな期待を寄せると共に、社会生活に最も大切な心のふれあうコミュニケーションづくりに町は、スポーツの町

されているので、多くの人に川口町の良さを知ってもらえるでしょう。町は町制三十周年を迎えるこの記念すべき年に、東京都狛江市との「ふるさと友好都市」提携の調印式が行われました。関越自動車道や町施設を利用することにより、交流を深め新しい文化が取り入れられることでしょう。その文化交流の主役を務め、川口町に新しい風を吹き込んでいくのは私達であると確信しています。現在の社会状況は、高度経済成長の発展期から経済安定期を経て、転換期をむかえております。その中で、社会人として何をしたらよいかという役割をはっきり見出し、その務めを果すことにより、厳しい時代を乗り越えていかなければなりません。これまでに培われてきた公的資質を基に、成人としての確固たる信念を持ち、今後の社会、そして明日の川口町の発展のために、不断の努力を続けていきたいと思っております。成人代表誓いの言葉から――

宣言をしておりスポーツにおける「正義と忍耐」「最善と努力」、このスポーツ精神を大切に、厳しい社会経済環境の中で、創造性豊かな活力のある人間が要求され、やる気のある者しか生きることができないことを認識して、新しい人生に向って頼もしく、勇しく挑戦して下さいと励まし、青年の前途を祝福した。このあと、新潟県知事からのメッセージ、祝辞及び記念品の贈呈、新成人の誓いが行われ、ワインで乾杯し、最後に記念撮影が行われた。



▲誓いの言葉を述べる成人代表 8/14 於 サン・ローラ川口

町を愛する心を大切に 町発展のために努力

成人式に臨み、私達それぞれに心期する思いは様々であります。これからは、自分達の立場を自覚し、責任を持った行動をとれるようにしていきたいと思えます。しかし、そのために消極的になることなく、若者の利点である活気に満ちた行動力で社会生活、地域発展を推進していかなければならないのです。

町では今、「健康と心のふれあうスポーツの町」「レッツ・ラブ・カワグチ」「この町は君が住む町創る町」という三つのテーマを掲げ、これからの町のあり方を示しています。私達は、しっかりと考えた考えを持ち、若者の声が町政に生かされるようにしていきたいと思えます。そこで、私達の町であるという意識が高まり、川口町を愛する気持ちを大切に育てていく態度が生まれてくるでしょう。健康と心のふれあうスポーツの町を目指す川口町には、そのために必要不可欠な素晴らしい総合運動施設である運動公園が設けられております。これを活用したスポーツ活動を通して町創りに生かし、町民の和をつくっていききたいと思っております。また、関越自動車道の開通により首都圏との時間的距離が短くなり、しかも規模の大きいサービスエリアが設置

「いま」を精一杯生きる



中新田 岡村由美子さん

私は先日、人生のひとつの節目といえる成人式を迎えました。

「二十歳」といえば、選挙権を得、お酒が飲めて、悪い事をすれば新聞に名前が載る……そんな事を漠然と考えていました。しかしよく考えてみれば、それらは、一社会人としての責任の重さを意味しているのです。即ち、「もう少女A」ではすまされないといいことです。これからは成人としての責任と自覚と誇りを持ってすべての物事に当

たらなければならないと痛感しています。その反面、十代の頃のエネルギーも失いたくないと思っております。「無鉄砲さ」や「物事に対する欲求の強さ」は、私

成人式を迎えて



小高 大淵 一輝さん

も知れませんが。そんな今、私は何をなすべきかと考えるばかりでなく、何事にも行動からをモットーに進んで行きたいと考えているのです。多少の失敗にはめげず、仕事に興味に大いに努力していきたいつもりです。そう言えば、我が川口町は現在、スポーツの町宣言等いろんな活動を活発に展開していますが、何か私の今の気持ちと共通している部分があるように感じます。

高校を卒業時に、私の恩師からこんな言葉をいただいた事を記憶しています。「人生には三日、三月、三年というリズムで何かしらの壁を乗り越えていくものだ」。私は今年、就職して三年目を迎え、そしてまた成人式を迎え、そしてまた成人式を迎えるといえます。恩師の言われる壁が本当にやってくるか

きつと町も行動力を持って活動しているからでしょう。ふるさと川口町に、そして私自身に輝ける未来が訪れる事を希望します。



人間と動物とのふれあい

'87動物フェスティバル 9月20日(日)開催

町制施行30周年記念事業

◀フェスティバル会場「サン・ローラ川口」前広場 午後2時～4時まで
◀動物愛護パレード「役場前～安田屋～石田屋」午後1時～1時30分

主な内容

- 動物たちと楽しくすごそう。
- 乗馬体験(馬にのって記念写真をとってもらおう)
 - 動物ふれあい広場(子牛、子豚、犬、猫、うさぎなど)
 - 里親さがし(飼えなくなった子犬、子猫に新しい飼主をさがしてやります)
 - 動物なんでも相談
 - ペット用品の展示・販売
 - 動物愛護パレード(小学校鼓笛隊と動物たち)
 - 警察犬の模範演技(シェパード犬・オス)
 - 犬のしつけ教室
 - グルーミングの実演指導(犬の手入方法)
 - わが家のペット自慢(珍芸・奇芸のできるペット大集合!?)
 - 乗馬演技(マサシロー号、あおぞら号による乗馬の模範演技)



▲動物愛護週間 9/20～9/26

ヤング紹介 ④8



貝之沢 荒川 賢一

親に孝行心の広い人間になること

- Q 趣味は何んでしょうか。
A べつになし
- Q 休日は何をしていますか。
A 自己啓発学習
- Q 理想の異性像は？
A 素直で正直で頭のキレる人
- Q 若さの証明とは？
A 理不尽なことを一途に信じている事
- Q 今の仕事の満足度は？
A 50%
- Q 町への要望は？
A 川口駅近郊に百台位の駐車場を設置してほしい
- Q 好きなことばは？
A あ、どうも、いつもお世話になりました//
- Q いちばん嫌いなのは？
A 酒癖の悪い公務員……
- Q 将来の夢を一言どうぞ
A 親孝行と寛大な人間に//
- Q 川口町が都会よりよいと思うところは？
A 屋号を言うだけで、その家の方針、生きざまがわかること
- Q 最後に自己アピールを
A 荒川家は6月に貝之沢に移ったことを覚えてください

健康と心のふれあう
スポーツの町宣言

スポーツ教室紹介

ニューミュージック
リズムカルに♪

いつも
ピチピチ

トロイカの仲間

エアロビクス

楽しくさわやかに
そして健康に



我等エアロビクス仲間「トロイカ」の紹介をいたします。十日町在住の美人チーフコエアロビクス(有酸素運動)インストラクター関口陽子先生のもとで(時々十日町のスタジオにおじゃまします)。

汗を流して
お楽しみ
振拍数(脈拍)を運動開始直前と運動終了直後に計り、年齢、体力、その日の体調に応じて強くも緩くも自身をみながら調節できるということです。日頃、運動不足と思いつつ、何をどうやったら……？

運動による
心臓機能
を高め血管を活性化
すると説明されています。
ともあれニューミュージックに合わせて楽しくリズムカルに、無理なく運動をして心身共に健康でありたいと願う、「トロイカ」が結成され、早や一年を迎えようとしてお

と思われる方々は、ぜひ「トロイカ」の会へ!!

毎週月曜日夜八時から約一時間半程度、福祉センターでおこなっております。運動のできる服装と運動靴を着用の上、気楽におこし下さいませようお待ちしております。

なお、年齢は不問ですので近所や仲間をおさそい合わせの上、おこし下さい。

カメラスケッチ

ふれあいゲートボール大会
老人と若者が仲よく
田麦山地区

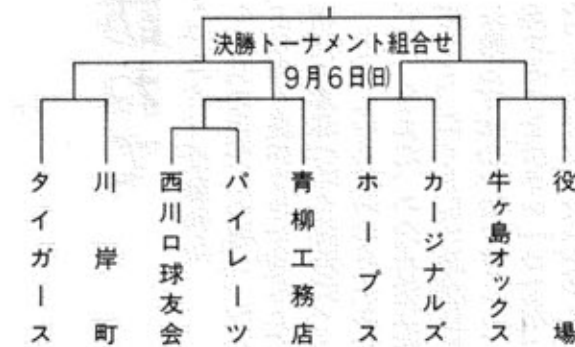


お盆の15日老人クラブの手ほどきでゲートボールを楽しむ若者

決勝トーナメント 出場チーム決まる

七月十二日から二十一チームが参加し、町長杯をめぐって、熱戦が繰り広げられていた第三十二回町民野球大会は、八月三十日、三ブロックリーグ戦が終わり、各ブロック上位三チームの次の計九チームが決勝トーナメントに進出しました。決勝戦は九月六日に行われます。

組合わせは次の通り



郷土の歴史を綴る

(郷土歴史愛好家) 佐藤 栄氏

町制施行当時を振り返って

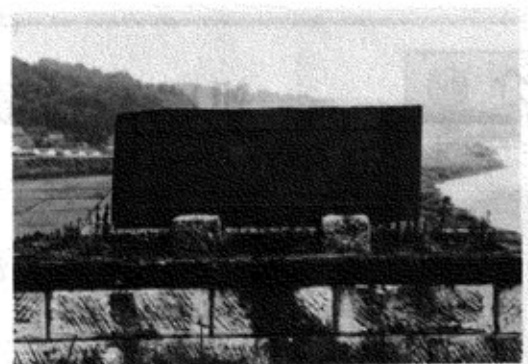
温故知新 (三)

文教と農政

昭和三十年代の町の歴史を振り返ってみると、大きな足跡が数多く思い出させられる。それは、学校の増設、土地改良、ガス・水道の普及、……等々、枚挙にいとまがない。当時の主なでき事をら列してみると、次のようである。

年次	主なでき事	年次	主なでき事
昭和三二	児童・生徒増加により木沢小学校増築	昭和三六	木沢分校を木沢中学校として発足
昭和三三	上川地区水田造成にともない信濃川から揚水工事着手	昭和三七	豪雪対策としてブルドーザー購入
昭和三四	小高・和南津地区簡易水道給水開始	昭和三八	県道川口・岩間木線木沢バイパス工事
昭和三五	上川土地改良区、牛ヶ島地内二〇ヘクタール開田完成	昭和三九	和南津・野田にそれぞれ稚蚕共同飼育所建設
昭和三六	中山スキー場で第一回町民スキー大会開催		川口小学校の統合校舎完成
	田麦山油田の噴出ガスを町営ガス事業として通産省認可		木沢校に独立体育館完成
	小学校の牛乳給食実施		中山地区に誘致工場第一号十日町二ツ工場進出
	ガスの供給開始		魚野川左岸の護岸工事着工
	中山南原、川口の沖ノ島、畑から水田へ工事完成		上越線の複線化工事着工
	上川地区揚水開始		田麦山中学校増築
	川口小学校の統合校舎建築はじまる(三年計画)		西川口に町営火葬場建設
	生徒急増のため川口中学校増築		

この表を見ると、戦後のピーブームが就学の時を迎えて、六・三制の学制施行で、既設の校舎が手狭になってきたことがわかる。そして、稲作への土地改良工事の多いのも目立つ。



し水番をすることがあり、田植唄にも「晒手拭大鉢巻、夜水引くのは我が殿」と、歌われている。

水道とガスの普及

逐次水道普及が進むなかで昭和三十五年にガスの供給がはじまった。当時この家も前時代的な住居であった。ヒナタ(囲炉裏)やかまどがあり、ボヨ(柴)やコロ(薪)が主な燃料である。物の煮炊きや暖房にヒナタで火をたくと煙が家中を回る、毎日毎日繰り返すこの生活で、屋内は真黒にすすけ放題であった。しかし、特別の燃料もなく、生活必需品の燃料確保は大きな仕事であった。ひとたびガスが供給されると、その熱カローリの高さと簡便さに人々は驚喜した。以後、家屋の作り替えや改造が進み、ガス・水道の時代となった。

燃料の供給源であった貴重なボヨ山やコロ山は、不必要となり原野にかえってしまった。

兎に角、昭和三十年代は、前時代から現時代への大きな大きな架け橋の時代のような気がする。

(続く)

交通安全

頭部はライダーの弱点 だからヘルメット



オートバイに乗るときには、ヘルメットをかぶる。これはライダーの常識です。また、道路交通法でも、すべての道路においてオートバイに乗る時は、ヘルメットの着用を義務づけています。しかし、「暑いから」「髪が乱れるから」「だれも見えていないから」といって、ヘルメットをかぶらないで運転する人も、少なからずいるようです。



県下では交通死亡事故が多発しています。交通ルールを守り安全運転に心がけて下さい。

顔を守る フロントガラスの役割

ヘルメットを、転倒などの万一の事故から頭を守ることだけに使う装備だと思っている人はいませんか。確かに、事故から頭を守るのは、ヘルメットの第一の「使命」です。しかし、それだけではありません。その「威力」は、走行中にも十分発揮されているのです。

でおおってあるものは、その効果がより大きくなります。では、それはどういった効果でしょうか。走行中、顔に雨が当たると、相当の痛みを感じられるものです。ましてや飛んできた虫や砂が顔に当たった時、前の車が巻き上げた小石が顔に当たったときは、痛みで運転ができなくなるといわれています。

つまりヘルメットは、こうした子期せぬ出来事から身を守り、事故を未然に防ぐ効果もあるのです。

過信は禁物 転倒しない運転を

では、ヘルメットをかぶってさえすれば安全かというと、そうとは言い切れません。ヘルメットをかぶっていても、死亡した事故は多数あります。事故の衝撃にヘルメットが耐えられても、身の体が耐えられずに死に至ったケースです。

オートバイの運転で大切なのは、まず転倒しないことです。そのためには交通ルールを守り、安全運転を心がけたいものです。

秋の全国交通安全運動

9月21日(月)～9月30日(水)

●交通安全を語ろう

特に「こどもの交通安全は家庭から」と言われます。こどもに交通ルールが正しく身につくかつかないかは、家庭での指導が鍵です。

●お年寄りを交通事故から守りましょう

お年寄りの交通事故は依然として多発しています。家庭で、主婦が中心になり、主人や子供を交えて家族全員で、お年寄りの安全意識を高めてください。

●自転車の正しい安全な乗り方を身につけよう

ブレーキのかけ方、合図のしかた、通行区分、交差点の曲り方などについて指導し、父さんの検定に合格したら道路に出すのも一つの方法です。



▲麦茶のサービスが好評の交通安全指導所 7/21 於 下夕島除雪ステーション